

Form 5

平成22 年5 月28 日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 福井県立藤島高等学校 渡邊 三穂

2. 参加研究者:                     Vinai Norasakkunkit Ph.D                    

3. 実施日時: 平成 23 年 2 月 22 (火)      16:45 ~ 17:45

4. 参加生徒: 1 年生 3 人、 2 年生 35 人 (合計 38 人)

備考: 海外研修参加者

5. 講演題目: (英文) Cultural Differences and Modern Japan: A cultural pshchological perspective

(和文)

6. 講演概要:

心理学のデータベースには偏りがあり、その真偽が問題になっているという話や文化心理学の紹介を導入とし、日本人と欧米人(アメリカ人・カナダ人)の物の見方の違いについて、実際の実験結果に触れながらご説明頂いた。講義の後半は日本が抱えるニート・ひきこもりといった問題は、ニートになる可能性の高い若者は、動機の持ち方がどちらかという点と欧米に近く、日本の文化には沿わないというおもしろい観点についての説明を受けた。講義全体をほぼ英語で行って下さったが、使われた単語が比較的易しかったこと、内容が参加者にとって身近であったことから、ほとんどの生徒が内容をよく理解することができた。質疑応答でも、内容に触れる深い質問がなされ、生徒の理解度と関心の高さが伺えた。

7. 使用言語: 英語

8. 講演形式:

(1) 講演時間 50 分      質疑応答時間 10 分

(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、プレ実験など)

                    プロジェクター使用による講演                    

(3) 通訳 (例: 受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)

                    なし                    

協力者 職・氏名

                    吉川 左紀子 教授                    

(4) 事前学習時使用教材: パワーポイントスライド資料を事前配布